

みんなで作ろう！！

笑顔でつなぐ 垣生のまち

# まちづくり計画

垣生地区まちづくり協議会

# 目 次

1 はじめに P1

2 垣生地区の概要 P2

3 まちづくり協議会とは P3

4 まちづくり計画 P4～9

資料 住民アンケート結果（抜粋） P10・11

垣生地区の沿革と地域の偉人 P12～15

# 1 はじめに



100年、200年いや永遠に続くであろう、垣生地区のまちづくりを進めるにあたりまして、ここに基本とする考え方を記しておきたいと思います。

まず、「まちづくり」とは「幸せづくり」であると言う事、子どもからお年寄りまで、垣生に住まわれている方「全ての人を幸せにしたい」と言う、壮大でかつ永遠に続く、この明確な目的を実現させる為の計画であると言う事です。その為には、どんな事業を計画する時も、まず最初に、それが住民の幸せに繋がっているか、住民に喜ばれたり、住民の役に立つ事かを考えてから提案し実施する必要があります。

そして、大きな観点で言いますと、次の世代が垣生を自慢したり、胸を張って語れるような、物語があり新しい歴史を刻むような事業を考えて、実施して欲しいと思います。

また、具体的な事業に取り組む姿勢の、基本とする3本の柱の第一を「楽しいこと」第二を「新しいこと」第三を「美しいこと」にしたいと思います。まちづくりを進めた結果として、「垣生に住んでいて良かった」「垣生に行って住んでみたい」と思ってもらえれば最高だと思います。

まちづくりはこれからです。具体的なことは何も決まっていなくても過言ではありません。一人でも多くの方が、まちづくりに関心を持ち、積極的に参画・参加し、住民主体のまちづくりが推進されることを心から願っています。

最後に飢餓・貧困、テロ・戦争、環境破壊のない、世界中の人々が笑って暮せる「幸せな社会が実現」することを願い、将来、垣生地区から、そのことに貢献するような人材が現れることを期待して挨拶とします。



カンナの花

平成28年4月1日

垣生地区まちづくり協議会

会長 秀野東洋夫

## 2 垣生地区の概要

松山市の南西に位置する垣生の里は、西は海の国立公園瀬戸内海に臨み、「島かと思えば岬なり、岬かと思えば島なり」と、その多島美は昔の小学校の教科書にも書かれていました。南には1級河川重信川が滔々と流れ、オバシキ、コチドリなどの野鳥が憩う楽園があります。東には西日本の最高峰で古来七霊山のひとつ霊峰石鎚山がそびえ立つ、すばらしい絶景が望めます。

～朝日の石鎚、夕日の伊予灘、四季折々趣あり風光明媚、豊かな自然に彩られたところなり～

歴史的にみると、平安時代の政治家・学者で、学問の神様と呼ばれる菅原道真公が筑紫の大宰府に下る途中、垣生の里を通り、勅使橋、槍分、波座、今出など、ゆかりの地名を残しました。垣生の地を去る時『今出（い）ず ※今、ここを出るよ』という言葉を残し、九州へ旅立ったと伝わっています。また、菅原道真公は和歌や書にも優れており『東風（こち）吹かば にほひをこせよ梅の花 主なしとて 春を忘るな』と詠み、梅を大切に想っていたようです。

また、郷土の偉人も忘れてはいけません。伊予絣（かすり）の創始者である鍵谷カナは、1782年天明2年に垣生村今出に生まれました。わら屋根の押竹の縄目の跡のまだら模様に関心され、これを織物に応用したのが始まりと言われていました。染め方も青汁染めから藍染を考えました。小さいときから何事にも興味を持ち、一生懸命考える探究心の強い子どもであったと伝えられています。垣生小学校の正門には、校訓「考える」の石碑がありますが、これも鍵谷カナ女の精神を受け継いでいるものです。さらに、村上霽月や石田波郷ら郷土の偉大な俳人の句碑がたくさん建っています。「霽月翁と正岡子規が今出ヶ浜を散策した。夏目漱石が離松の際に霽月翁を訪ねたが、留守で会えなかった。」などと伝わっており、今でも俳句をたしなむ人が多数います。また、小学校の校庭の一面には俳句の小径（こみち）や広場があり、作品を掲示し、郷土の伝統をしっかり受け継いでいます。

このように、長い歴史と文化に培われた風土と土壌で生まれた「考える・学ぶ・伝える」精神がここにあり、今、多くの教育者が生まれています。地域の宝は人なり、歴史と文化の里垣生です。



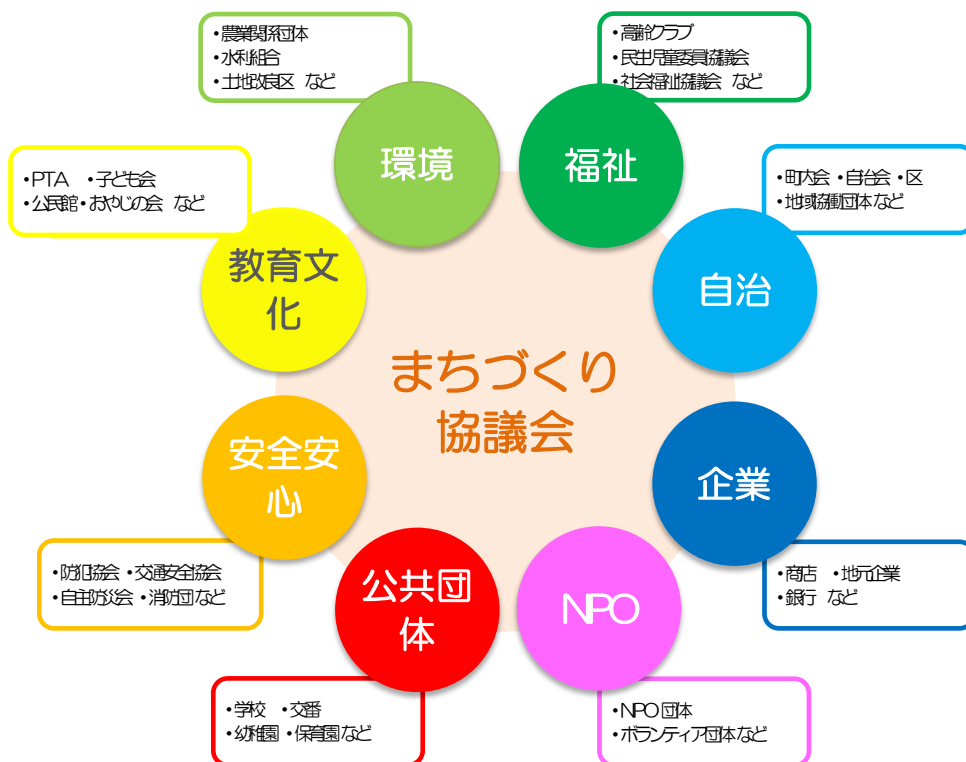
今出ヶ浜の夕日

### 3 まちづくり協議会とは

#### まちづくり協議会とは

まちづくり協議会は、垣生地区の住民や地域づくりを行う町内会、公民館、各種団体などが集まり、地域の課題を解決したり、魅力を伸ばしたり、話し合いや取り組みを重ねながら、より暮らしやすいまちにしていく「場」です。

そのため、地域を知ることからはじめ、どんな課題や魅力があるのかを話し合い共有したうえで、理想の垣生地区を実現するために、この度「まちづくり計画」を策定しました。この計画を道しるべに、これからオール垣生の体制で力を合わせ、まちづくりを進めていきましょう。



#### 設立までのあゆみ

平成25年1月29日 垣生地区まちづくり協議会準備会設立総会

平成25年2月末 住民アンケート実施

平成25年5月30日 準備会総会

※アンケート集計結果発表

以降、準備会 地域づくり支援セミナー参加

若松進一氏 講演会開催

伊予市双海町「人間牧場」にて研修

スローガン「みんなで作ろう！！笑顔でつなぐ垣生のまち」決定

平成26年3月27日 垣生地区まちづくり協議会設立総会



## 4 まちづくり計画

このまちづくり計画は、今より垣生地区がさらに暮らしやすいまちになるよう、垣生地区の住民や各種団体が協力し合って、実現していくための‘道しるべ’です。

これまで、アンケート調査やワークショップ、意見交換などを行い策定されました。この計画の期間は10年とし、すぐ取り組めること、長期にわたり取り組んでいくことなど様々ですが、思い通りに進まない場合も改善を繰り返しながら理想を実現していきましょう。

### まちづくり計画の体系

#### 全体目的 **みんなで作ろう！！笑顔でつなぐ垣生のまち**

住民同士が互いに垣生の人、自然、文化の調和について考え、学び、伝える精神を育むと共に、住民自らが地域について調査、研究を行い、課題を把握し、安全・安心、環境美化、福祉厚生、地域振興などの事業に取り組む事を目的とします。

#### こんなまちにしたい！

こんなまちにしたいという理想のまちの姿を、5つの分野別にあげています。

環境	地域の自然を守り育てながら、さらに美しいまちへ、また、快適に住める生活環境が整っているまち
教育・文化	地域ぐるみで子どもたちや人材を育て、ふるさと垣生の歴史・文化を大切に伝えながら、地域の魅力を育むまち
安全安心	災害に強く、防犯・交通安全への対策などが充実した、誰もが安全に安心して暮らせるまち
福祉	心も身体も健康で、子どもから高齢者までいきいきと暮らせる、みんなにやさしいまち
地域活性化	地域に活力がみなぎり、住民の交流が盛んに行われ、地域の魅力があふれるまち

#### みんなをめざそう！

理想のまちの実現をめざし、分野別に主な取り組みと具体的な活動例をあげています。

【実現に要する取組期間の目標】 短期（1～3年）、中期（4～6年）、長期（7～10年）

【役割分担】 住民（住民主体）、協働（住民と行政が協働）、行政（行政主体）

## こんなまちにしたい！

地域の自然を守り育てながら、さらに美しいまちへ、また、快適に住める生活環境が整っているまち

## みんなできめざそう！

### ■環境保全に努め、自然を守る

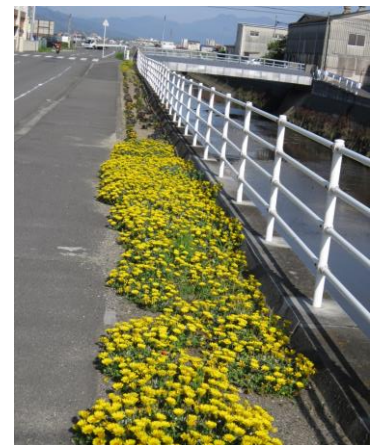
- 清掃活動に参加しよう [短期：住民]
  - ❖今出ヶ浜清掃や市民大清掃、町内会の清掃活動など
- 自然環境への意識を高めよう [短期：住民]
  - ❖環境学習会やバードウォッチング、希少生物の保護など



自然を守ろう！今出ヶ浜清掃

### ■花や緑に囲まれた美しいまち

- 花いっぱいのにまちにしよう [短期：住民]
  - ❖花植えや休耕田を活用したレンゲ畑など
- 植樹で自然豊かなまちにしよう [長期：住民]
  - ❖まちの木として親しまれてきた梅の普及など



洗地川沿いに咲くガザニア

### ■ごみの減量や排出ルールの徹底に努める

- 家庭ごみを減らそう [短期：住民]
  - ❖ごみの堆肥化やごみゼロ運動で啓発など
- ごみ出しルールを徹底しよう [短期：協働]
  - ❖啓発看板の設置や不法投棄の撲滅など

### ■エコ活動・資源の節約で環境にやさしいまち

- 家庭でできるエコ活動を推進しよう [短期：住民]
  - ❖エコバック、服のリメイク、マイ箸など
- エネルギー資源や水の節約を推進しよう [中期：協働]
  - ❖省エネ家電、太陽光発電、蓄電池、緑のカーテン、節水など

### ■快適に住める生活環境を整える

- 快適に住み続けられる環境を確保しよう [長期：協働]
  - ❖住居表示の検討、空き家対策、空き地活用、はみ出し樹木の整備など
- いきいきと暮らせる環境をつくろう [長期：協働]
  - ❖サイクリングロード整備、交流の場づくりなど

### こんなまちにしたい！

地域ぐるみで子どもたちや人材を育て、ふるさと垣生の歴史・文化を大切に伝えながら、地域の魅力を育むまち

### みんなでめざそう！

#### ■郷土の歴史・文化を継承する

○郷土の偉人や歴史を知ろう 【短期：住民】

❖ 鍵谷カナ、村上霽月、石田波郷の勉強会など

○地域行事や伝統文化行事を次世代へ伝えよう 【短期：住民】

❖ 鍵谷祭、しめ縄づくり、亥の子の伝承など



鍵谷カナ慰霊祭

#### ■次世代の担い手・人材を地域で育てる

○学習会・講演会・ワークショップ等を通じてスキルアップしよう 【短期：住民】

❖ 俳句教室や郷土料理教室の開催など

○子どものコミュニケーション能力を向上しよう 【短期：住民】

❖ 多世代との交流、各種地域行事など

○地域を良く知る人材を育てよう 【中期：住民】

❖ 各種ボランティアガイドの育成など



鍵谷祭 子ども相撲大会

#### ■地域の魅力を育み発信する

○地域の良いところを見つけよう 【中期：住民】

❖ まちあるき、歴史探訪、句碑めぐり、ガイドマップの作成など

○地域の魅力を発信しよう 【中期：住民】

❖ 伊予餅を用いた啓発、探訪コース活用、SNS活用など



### こんなまちにしたい！

災害に強く、防犯・交通安全への対策などが充実した、誰もが安全に安心して暮らせるまち

### みんなでめざそう！

#### ■災害に強いまちをつくろう

○平常時にできる備えをしよう [中期：協働]

❖家具の転倒防止、備蓄、河川水路・港湾等の点検など

○防災訓練や啓発を強化しよう [中期：協働]

❖防災訓練の充実、広報、防災かるた取りなど

○災害時の支援体制をつくろう [中期：住民]

❖各自主防災組織間の交流、要支援者支援、隣近所とのコミュニケーションなど

#### ■防犯対策を推進する

○防犯の啓発を強化しよう [短期：住民]

❖防犯パトロールの強化、特殊詐欺手口の情報提供など

○防犯灯の点検をしよう [短期：住民]

❖防犯灯が暗くなっていないかなど

#### ■交通安全対策を推進する

○交通ルールやマナーを守ろう [短期：住民]

❖自転車の交通安全教室、路上駐車など

○交通事故をなくそう [短期：協働]

❖子どもの見守り、カーブミラー点検、通学路の安全確保、高齢者の安全対策など



防災訓練 ダンゴ虫で身を守ろう



夜間防犯自転車パトロール

### こんなまちにしたい！

心も身体も健康で、子どもから高齢者までいきいきと暮らせる、みんなにやさしいまち

### みんなでめざそう！

#### ■福祉活動を推進する

○地域で高齢者を支えよう [中期：住民]

❖独居高齢者への家庭訪問、サロンの活用、買い物支援など

○地域で子育てを支えよう [中期：住民]

❖子育て相談、高齢者との交流の場づくりなど

#### ■健康づくりを推進する

○健康について学ぼう [短期：住民]

❖食と健康の講座、健康促進のための講座など

○身体を動かして体力をつけよう [短期：住民]

❖健康ウォーキング、健康体操の普及、高齢者スポーツの支援など

○病気を予防しよう [短期：住民]

❖健康診断の促進、生活改善の啓発など



いきいきサロン ディskon



公民館 グラウンドゴルフ大会

### こんなまちにしたい！

地域に活力がみなぎり、住民の交流が盛んに行われ、地域の魅力があふれるまち

### みんなめざそう！

#### ■地域資源を活用する

○特産物の魅力を見出そう [長期：住民]

❖ たこ飯の普及、特産品開発、果樹産業の振興、垣生のブランドづくりなど

○垣生の魅力を発信しよう [短期：住民]

❖ 地域情報の収集と発信、ホームページ等の活用など

#### ■住民が盛んに交流する

○地域活動を盛り上げよう [短期：住民]

❖ 地域の祭りや行事への参加促進、若い世代の参画など

○あいさつを交わそう [短期：住民]

❖ 地域全体であいさつ運動の推進など

○東西の垣生、新旧の垣生の融和を推進しよう [中期：住民]

❖ 各組織間の助け合い、垣生の便利帳作成、連携強化に向けた話し合いの場づくりなど



今出大神輿



垣生 どんど焼き

## 資料 「まちづくりアンケート」集計結果（抜粋）

配布数：3,778件 回答数：2,846件（ネット回答8件及び公民館への回答4件を含む）  
回収率 約75%

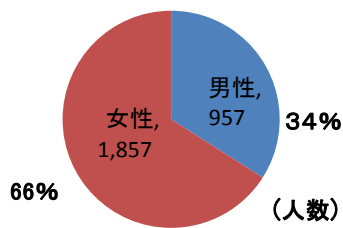
・アンケート配布回収概要 \*一部未記入者あり

アンケートの実施は、平成25年2月末に、各広報委員から町内や組内の回覧でアンケートを配布し、各広報委員が回収したものを支所で取りまとめた。

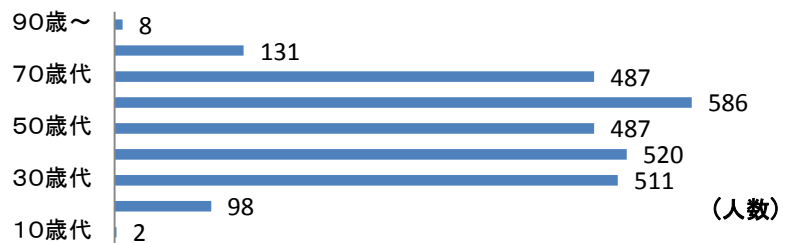
アンケートの回収は、4月10日の地区広報委員会をもって終了した。

高回収率の要因としては、広報委員及び町内会の尽力によるものである。

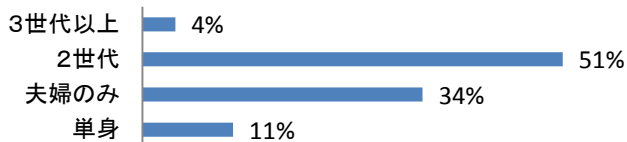
### 問1. あなたの性別は？



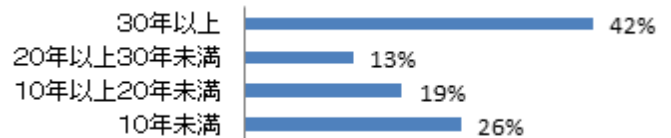
### 問2. あなたの年齢は？



### 問3. あなたの世帯構成は？

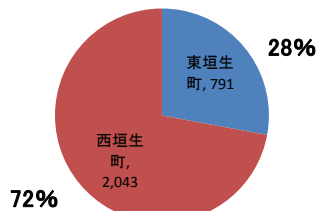


### 問4. あなたは垣生地区に何年お住まいですか？

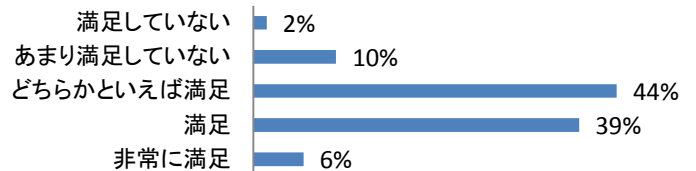


### 問5. あなたの現在の居住地は？

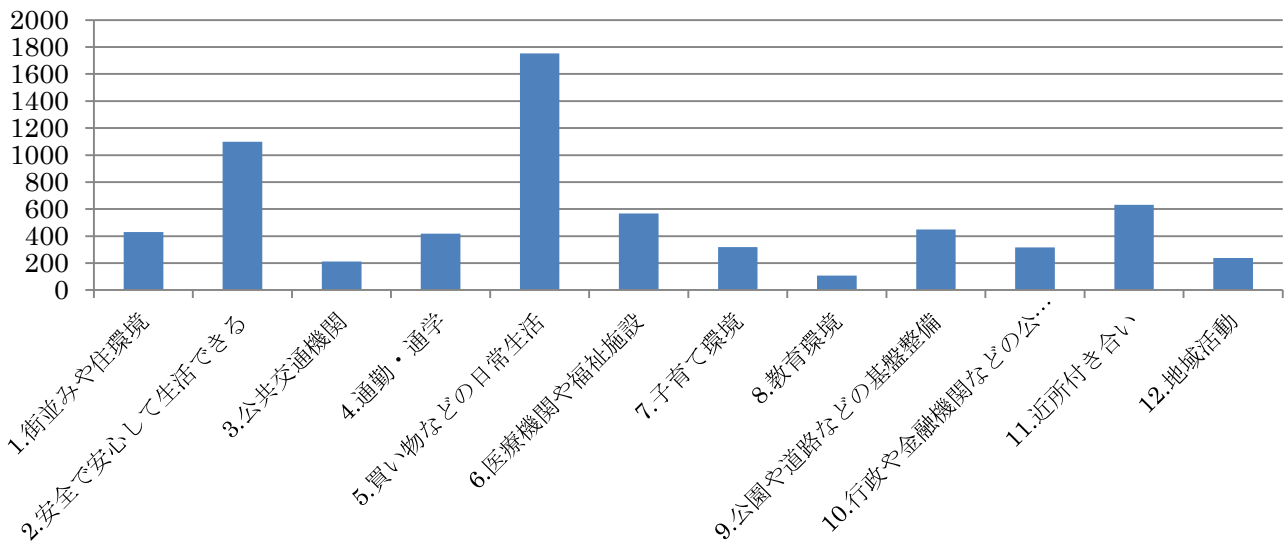
※配布数：東垣生町1,098件 西垣生町2,680件



### 問6. 垣生地区は住み良いまちですか？



### 問7. 垣生地区の良いと思うところは？（複数選択可）



**問 8. また、悪いところはどんなところですか？**

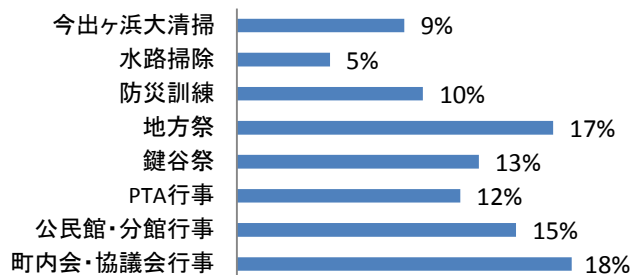
この質問回答は具体例の記載で、回答数 862 でありました。

これを類型化し項目別に集計すると

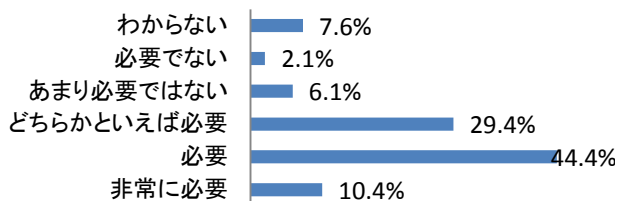
項目	回答数	比率
1. ご近所、町内会・協議会など地域に関すること	155	16.0%
2. バスや電車の公共交通機関に関すること	267	27.6%
3. 道路・河川・公園や公民館・児童館など 公共施設に関するもの	201	20.8%
4. ゴミや野焼きや大気・騒音・臭気など環境に関すること	101	10.5%
5. 交通安全や治安や街灯・防犯灯などの防犯に関すること	101	10.5%
6. 地震や津波あるいは、放送整備など災害に関すること	62	6.4%
7. その他	79	8.2%

なお、複数の回答があったので件数は回答数を超えている。

**問 9. あなたの参加したことのある地域行事を教えてください。(複数選択可)**

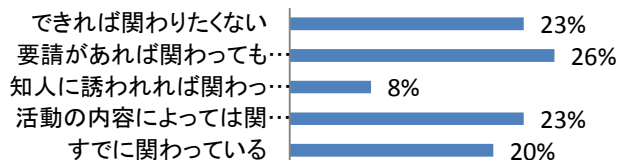


**問 10. 町内会・協議会や公民館などの活動は必要だと思いますか？**



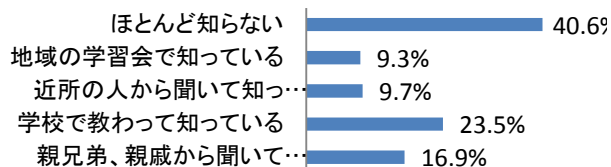
**問 11. 町内会・協議会や公民館など、地域のまちづくり活動に関わってみたいと思いますか？**

※一部複数回答あり

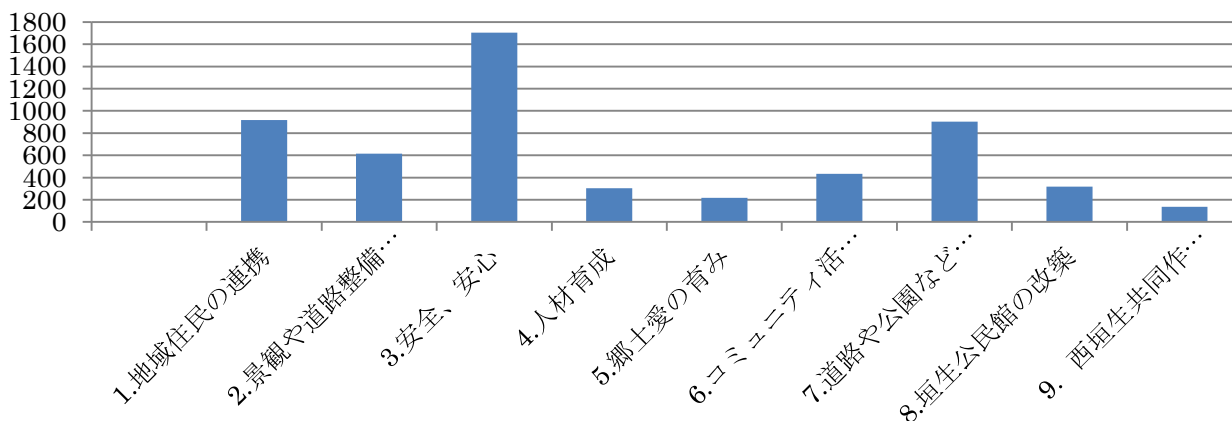


**問 12. 垣生地区の歴史や偉人のことを知っていますか？**

\*一部未記入者あり。一部複数回答あり。



**問 13. 今後、垣生地区がより住み良いまちに変わるためにはどんなことが大切ですか。また、どんなことを望みますか？ (複数選択可)**



## 資料 垣生地区の沿革と郷土の偉人

### ◇ 垣生地区の沿革 ◇

647年	大化	3年	餘戸の里の一部として垣生地区誕生。
713年	和銅	6年	郷名を用いる事になり、餘戸の郷という。
983年	永観	元年	倭名類聚鈔の書に、久米郡に天山、吉井、餘戸の郷名が記載。
1587年	天正	15年	餘戸の郷は分封丈量により久米郡から伊予郡に編入。
1597年	慶長	2年	郷色名廃止し郡村を用いる。 餘戸の郷は市坪村、保免村、餘戸村、垣生村に分かれる。
1846年	弘化	3年	垣生村が分村により、東垣生村と西垣生村に分かれる。
1878年	明治	11年	郡区長村編成法発布、大小区を廃止し郡村をおく。 市坪村、保免村、余戸村、東垣生村、西垣生村を河北5ヶ村と称し、伊予郡に属した。
1888年	明治	21年	河北5ヶ村合併方を郡より進められたが、垣生村と余土村に分村し町村制を実施する。
1890年	明治	23年	東・西垣生の二村が合併して垣生村と改称する。
1897年	明治	30年	垣生村が改めて温泉郡に編入される。
1944年	昭和	19年	垣生村と生石村と道後湯之町が、松山市に合併する。 松山市大字東垣生、大字西垣生となる。
1969年	昭和	44年	字の廃止により、現在の東垣生町・西垣生町になる。

### ◇ 地域の偉人 ◇

かぎや

#### (1) 鍵谷 カナ 天明2年(1782年)～元治元年(1864年)



鍵谷 カナは、伊予緋の創始者である。伊予国伊予郡垣生村（はぶむら）今出（現在の西垣生町）に生まれる。

農家に嫁いでからその傍ら、伊予縞の布を織っていたが、それに見せられ、享和年間に新しい緋模様を考案、織屋の菊屋新助が考案した高機を使って織り出して出身地名を使い今出緋を完成した。そして後に伊予緋として生まれた。

鍵谷カナの命日の5月28日には、毎年地域の人々によって長楽寺（西垣生町1250；頌功堂の正面）を中心に、鍵谷祭（鍵谷カナ媼頌功会主催、垣生公民館共催）が開かれている。

むらかみ せいげつ

(2) 村上 霽月 明治2年(1869年)～昭和21年(1946年)



愛媛県伊予郡垣生村(現・松山市西垣生町)の生まれ。本名は半太郎。松山中学の先輩正岡子規や内藤鳴雪の指導を受け、『ほととぎす』に参加、選者となり、「業余(ぎょうよ＝本業の仕事以外にする仕事。余暇にする仕事)俳諧」を主唱し、俳句の伝統性に新生面を開いた。また、実業家としては、家業を継ぎ「今出(いまず。伊予餅《かすり》の発祥の地。当時は「今出餅」と呼ばれていた)餅株式会社」の社長となる。

さらに伊予農業銀行、愛媛県信用組合連合会を設立して地元経済、特に農業経済に大きく貢献をした。

常に、和服で端然として、おもむろに長いあごひげをなでる仕草の気高い気品を備えた謹厳実直な人であったといわれており、みずからの句境をひらいた天性の俳人にして実業家。

なお、霽月とは、雨が上がったあとの月。転じて、曇りがなくさっぱりとした心境のこと。



正岡子規、夏目漱石、高浜虚子が訪れた霽月邸宅跡



いしだ はきょう

(3) 石田 波郷 大正2年(1913年)～昭和44年(1969年)



明教館(松山東高)の肖像画

愛媛県温泉郡垣生村(現・松山市)に生まれ、本名は哲大(てつお)。松山中学校(現松山東高校)在学中に同級生の中富正三(俳優・故大友柳太朗)の勧めで俳句を始め、村上霽月(せいげつ)に手ほどを受けた後、五十崎古郷に師事、波郷と号した。

水原秋桜子(1892～1981。東京の生まれの俳人)の句集『葛飾』を読んで感動、上京して秋桜子に師事。

1937(昭和12)年、俳誌「鶴」創刊、主宰者となる。戦後の俳壇を先導し、わが国の俳句文学に大きな功績を残した昭和の俳聖。



「雀らも 海かけて飛べ 吹流し」  
松山市立垣生中学校の碑



「秋いくとせ 石鎚を見ず 母を見ず」  
松山市立垣生小学校の碑

なかや まんきち

(4) 中矢 万吉 文化元年(1804年)～明治25年(1892年)

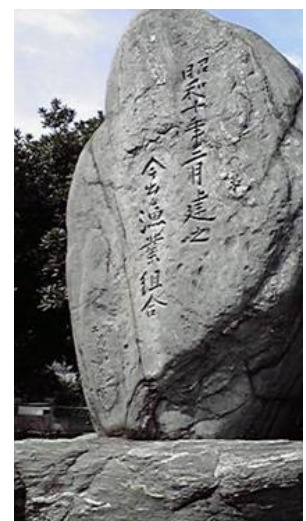
初代万吉は文化元年に西垣生に生まれたが、松山藩の信頼を受け、藩主他界後に慣行による定置漁場の御下渡しを受けた。その子熊蔵が二代目万吉となり、その権利を継承したが、大正3年に亡くなった際、その後継者がいなかったことから、その権利は今出漁業組合に移管された。また、重信川の砂利採取権利も同漁業組合に移管された。その後、多額の収益を得られたことから、昭和10年に住吉神社にその功績を称え、三原新四郎と二人の頌功碑が建立された。



みはら しんしろう

(5) 三原 新四郎 天保4年(1833年)～明治39年(1906年)

三原新四郎は、明治7年に今出港舟入江に黒色海苔が付着していることを発見し、更に明治9年にその子浅五郎が重信側に青色海苔が生成されているのを見つけ、これを生産にするに及んだが、大量収益にはならずも、浅五郎がその志を継ぎ組合を組織し生産に従事した結果、海苔の生産量は増加し、次第に収益を得るに至った。その後、今出漁業組合により昭和10年に住吉神社にその功績を称え、中矢万吉と二人の頌功碑が建立された。





にいの いさぶろう

(6) 新野 伊三郎 明治7年(1874年)～昭和29年(1954年)



新野氏は村の今出餅KK（社長村上半太郎）の取締役となり折々出仕する傍ら、愛媛新報社にも入社して地方の政党人、有志家、実業家等との接触をもった。その後、29才の若さで村長となり、その後体調を崩して、36歳のときに辞任する。病気療養の後、松山信託KKを創立し、地方金融界への第一歩を踏み出した。しかし当時の経済界の情勢は銀行の新設は困難であったので、吉田銀行の営業権を買収継承し、伊予銀行と改称して、

開業の運びとなった。全行員を指揮して、着々と業績をあげたが、昭和十六年国策による一県一行主義の方針に即して、25年間心血を注いだ伊予銀行は発展的に解散となり、其の営業を松山五十二銀行に譲渡した。それと同時に、松山信託KKの後身である松山証券KK（社長新野伊三郎）も解散した。

また氏は現伊予鉄道にも伊豫水力電気KK時代を含め42年間という長き亙り、井上要氏の側近にあつて、取締役となり、又一時的には会長と社長を兼任するなど役員として、鉄道事業にも多大の貢献をした。

みよし たんこう

(7) 三由 淡紅 明治11年(1878年)～昭和34年(1959年)



淡紅は本名を忠太郎といい、明治11年に現在の北条辻で生まれ、5歳の時父と死別する。15歳で西垣生の今出餅会社に入った時より、今出との関係がはじまる。同社の頭取が村上霽月であった。

やがて淡紅は霽月から俳句の手ほどきを受けるようになる。

明治37年頃から餅仲買を生業とし、句作と北条・鹿島の開発に力を注いだ。鹿島の難所に私財を投げうって橋をかけ鹿島周辺道の足がかりを作ったのが淡紅である。

そして、この橋に百石橋と名付けたのが虚子である。鹿島に碧梧桐や為山、虚子、東洋城らの俳人を案内したのも淡紅。鹿島に愛着を抱くあまり、俳人仲ら「鹿島狂」「鹿島探題」などと呼ばれたほどである。しかし、碧梧桐は「信ずる所に突進するは、明治の今日、初めて見るべき俳諧奇人伝中の異彩」と称賛している。

毎月の子規会に、風呂敷包みを首に巻き、ぞうりに竹の杖で正宗寺を訪れていた淡紅の姿は今も語り草になっている。

昭和34年の子規忌に「急病で糸瓜も切れぬ力かな」と詠んだのが辞世となった。







## 垣生地区まちづくり計画

編集／発行 垣生地区まちづくり協議会

計画期間 平成28年5月～平成38年4月

写真提供 垣生公民館